

学校教育目標 未来に向かって力強く生きる ひとみ輝く 和土っ子の育成

～ やさしい子：やさしいっばい かしこい子：かいっばい たくましい子：やる気いっばい ～



和土小だより

〒339-0033 さいたま市岩槻区黒谷1353番地 TEL048-798-0208 / FAX048-798-8730

学校 Web ページ：<https://wado-e.saitama-city.ed.jp/> Eメール：wado-e@saitama-city.ed.jp

さいたま市立和土小学校
令和7年5月30日（金）
6月号

児童数 148名

目には見えない心

校長 中野尾 奈都江

梅雨の季節が近づいてきました。湿った空気と太陽の日差しは、植物にとっては最高のごちそうのようです。中庭では、2年生の植木鉢のキュウリやトマトの苗がぐんぐん成長しています。

先日は、たくさんの保護者の皆様、地域の皆様のご声援に見守られながら、無事に運動会を開催することができました。

「一生懸命 ～最後まで全力で楽しく取り組もう！～」をスローガンに、赤組も白組も力いっぱい競技や表現をしていました。全力で走り切った後のすがすがしい笑顔や、本気で演技する子どもたちの真剣な表情が光っていました。また、4・5・6年生は、係の仕事での自分の役割に、責任をもって取り組みました。閉会式の校長講評では、『一生懸命に取り組んだ自分』に自信をもってください。そして、一緒に頑張った友達と、運動を通してさらに仲良くなれましたね。」と話しました。グンスを繰り返し練習した仲間、大きな声で「ゴーゴーゴー」を歌った友達、徒競走を競った相手との時間はかけがえのないものです。運動会の練習や本番を通して、子ども達は心と身体で、自分も友達も大切にすることを経験しました。



中庭の野菜の苗

さて、さいたま市では6月を「いじめ撲滅強化月間」と位置付けています。たとえば運動をしていて、校庭で転んで膝を擦りむいた時は、保健室で消毒をして絆創膏を貼ってもらいます。では、自分の心が、転んだ時のように擦りむけた時、血が出てしまった時は、どうしたらいいのでしょうか。心は目には見えません。でも、「大丈夫？」と言ってくれる友達の一言が、心の絆創膏になるかもしれません。保健室について来てくれる誰かがいるように、心配して顔をのぞきこんでくれる人がいたら、もしかしたら、心の擦り傷は、ちょっと痛くなくなるかもしれません。さいたま市の「心を元気にする 4 つの言葉」には、「大丈夫？」があります。相手のことを思いやる気持ちは、「言葉」してみると相手に伝わります。和土小学校では「自分を大切に、相手を大切に学び合う学校」を目指しています。

「笑顔な和土っ子が、楽しく生活できるような学校にしていきたいと考えています。」

「みんなが笑顔とあいさつ、元気いっばいな和土小にしていきたいです。」

「みんなが仲良く安心して過ごせる学校にしたいです。」

「楽しく、いじめがなく、みんなが仲良い和土小学校にしていきたいです。」

「一人ひとりが色々な考えをもち、けんかやいじめのない、笑顔あふれる和土小にしていきたいです。」

「みんな、仲良く、自分の意見が気軽に言える学校にしていきたいです。」

「笑顔があふれる和土小学校にしていきたいです。」

「楽しく安全な和土小にしたいです。」

これは代表委員の言葉です。A棟1階通路に掲示されています。そして、代表委員会では『みんなの笑顔があふれる和土小学校』という児童会スローガンを話し合って決めました。目には見えない心だからこそ、思いやりの言葉を相手に伝えて、自分も相手も笑顔になれるといいですね。子どもたちとともに「心と言葉」について考える6月としていきます。